

内野 颯也さん

情報科学部 情報科学科4年

出身高校：加世田高校

キミスゴ! POINT

九産大図書館内を案内する ^{ベッパー} Pepper を開発!

Q 図書館を案内する Pepper って？

A 図書館1階メインカウンター横に立って、胸のタブレットを使って利用者の質問に答えたり、フロアマップを表示して場所を伝える総合案内役です。

図書館によくある質問を調査し、音声認識機能や地図を組み込みオリジナル案内アプリをつくりました。

たくさんの利用者が話しかけてくれたよ!



Q なぜ Pepper を使おうと思ったの？

A Pepper は、オープンキャンパスなどで、登場していますが、毎日使ってもらえる活躍の場を考えました。

また、図書館の利用客アップにもつながると考えたからです。



▲オープンキャンパスの様子

Q Pepper プログラミングの苦労する点は？

A 音声認識の精度を上げることと、Pepper の話す言葉を人間の発音に近づけることです。

利用者が探したい本を口頭で伝えると、自然な言葉で案内できるようにするのが目標です。

Q 今取り組んでいることは？

A 入力と音声出力の関係を分析し、どのように入力すれば人間に近い言葉で話せるかを研究しています。

今年4月、パソコン画面上のバーチャル Pepper を操作する大会「Pepper Maker コンテスト」(ソフトバンク主催)にこの成果をもとに出品したところ優秀作品に選ばれました。



▲内野さんの作品「テーマ:日頃の感謝を」

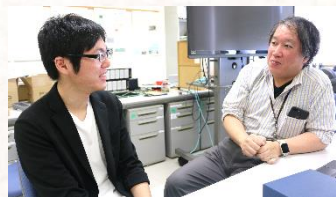


▲記念に贈られた賞状と記念品

Q 普段の生活は？

A 田中康一郎教授の研究室で、ロボットプログラミングが好きな仲間と一日中、プログラミングの話をしています。

最後はゲームの話になって盛り上がることが多いですね(笑)



▲ゼミ室で田中先生に卒業研究の相談

Q 今後の目標は？

A 大学院に進学し、「脳波を使ったサイレントスピーチ」を研究する予定です。上手く話しが出来ない方の、手助けになり、社会の役に立てるようになりたいです!